

発表事項

1 令和4事業年度審査支払会計収入支出予算変更

2 令和5事業年度社会保険診療報酬支払基金事業計画

3 令和5事業年度審査支払会計収入支出予算

4 令和5事業年度保健医療情報会計収入支出予算

5 審査関係訴訟事件

6 第28次審査情報提供（医科）

7 令和4年12月審査分の審査状況

8 令和5年1月審査分の特別審査委員会審査状況

予算変更の概要

1. 退職給付引当預金の繰入不足への対応

令和4年度当初予算において、退職給付引当預金への繰入額を一部抑制（▲5.4億円）していることから、令和3年度決算剰余金（19.3億円）の一部を令和4年度に受け入れ、当該繰入不足を補填する予算変更を行う

2. 研修センター売却収入の繰入

研修センターの売却収入（8.5億円）について、今後の事務所維持管理（修繕）に充てる財源とするため、予算変更により施設及び設備準備積立預金へ繰入れる

1. 退職給付引当預金の繰入不足への対応

- 令和2年度及び令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う収入欠損により、退職給付引当預金を大きく取崩し（▲85.5億円）対応
- このことから、今後の財政運営正常化を図るため、退職給付引当預金への繰入計画を見直し、令和4年度以降10年間（毎年40.3億円を繰入）で退職給付引当預金の回復を目指すこととしている
- しかしながら、令和4年度予算においても手数料水準を維持するため、退職給付引当預金の減少回復に必要な繰入額を▲5.4億円抑制し対応

【令和4年度退職給付引当預金への繰入予算】

【回復に必要な水準】

40.3億円

⇒

【令和4年度予算】

34.9億円（▲5.4億円）

- 令和4年度予算変更により、別途積立預金（令和3年度決算剰余金19.3億円）から5.4億円を受け入れ、退職給付引当預金への繰入額を5.4億円増額

【令和4年度予算変更】

		【当初予算】		【変更後予算】
【収入】	別途積立預金からの受入	受入なし	⇒	5.4億円（+5.4億円）
【支出】	退職給付引当預金への繰入	34.9億円	⇒	40.3億円（+5.4億円）

退職給付引当預金への繰入計画

(億円)

	退職給付引当預金				退職給付債務② (退職一時金制度)	充足率 (①÷②)
	退職者数	退職手当支給額	繰入計画	残高①		
令和2年度末	214	48.6	2.7	303.9	585.5	51.9%
令和3年度末	186	42.0	2.4	264.4	585.7	45.1%
令和4年度末	282	59.8	40.3 ※	244.9	568.1	43.1%
令和5年度末	260	55.8	40.3	229.4	553.0	41.5%
令和6年度末	219	51.0	40.3	218.7	533.4	41.0%
令和7年度末	217	48.1	40.3	210.9	516.2	40.9%
令和8年度末	192	41.5	40.3	209.8	504.9	41.5%
令和9年度末	189	40.7	40.3	209.4	487.3	43.0%
令和10年度末	192	41.5	40.3	208.2	468.6	44.4%
令和11年度末	160	33.0	40.3	215.5	458.2	47.0%
令和12年度末	174	36.7	40.3	219.1	444.1	49.3%
令和13年度末	237	53.0	40.3	206.4	412.8	50.0%

※回復に必要な繰入額を一部5.4億円抑制し対応

2. 研修センター売却収入の繰入

- 令和3年4月記者会見で公表した「社会保険診療報酬支払基金保有資産活用基本方針」に基づき、審査事務センター・分室及び築30年未満の事務所（神奈川を除く）については、必要な修繕を行い継続使用することとし、保有資産の賃貸及び売却によって得られる収入を事務所の維持管理費用などに充てることとしたところ
- また、建物の維持に必要な修繕については、「大規模修繕計画」を策定し、この財源として施設及び設備準備積立預金を取崩して活用することとしているが、将来的には枯渇することが見込まれることから、保有資産の売却収入等を積立預金に繰り入れ、計画的に活用することとしている



- 令和4年度当初予算に計上している宿舎売却収入（4.2億円）に令和4年9月に売却した研修センターの売却収入8.5億円を加え、施設及び設備準備積立預金へ繰り入れるため予算変更を行う
ただし、令和5年2～3月に売却予定の宿舎売却額が3.5億円となることから、研修センター売却収入8.5億円を合わせた12.0億円を変更後予算とする

【令和4年度予算変更】

【収入】 雑収入

【当初予算】 【変更後予算】

14.7億円 ⇒ 22.5億円 (+7.8億円)

【支出】 施設・設備準備積立預金への繰入

4.2億円 ⇒ 12.0億円 (+7.8億円)

研修センター売却 0 → 8.5 (+8.5)
宿舎売却 4.2 → 3.5 (▲0.7)

令和4事業年度審査支払会計収入支出予算変更 事務費勘定 5/7

施設及び設備準備積立預金の収支イメージ

(単位：億円)

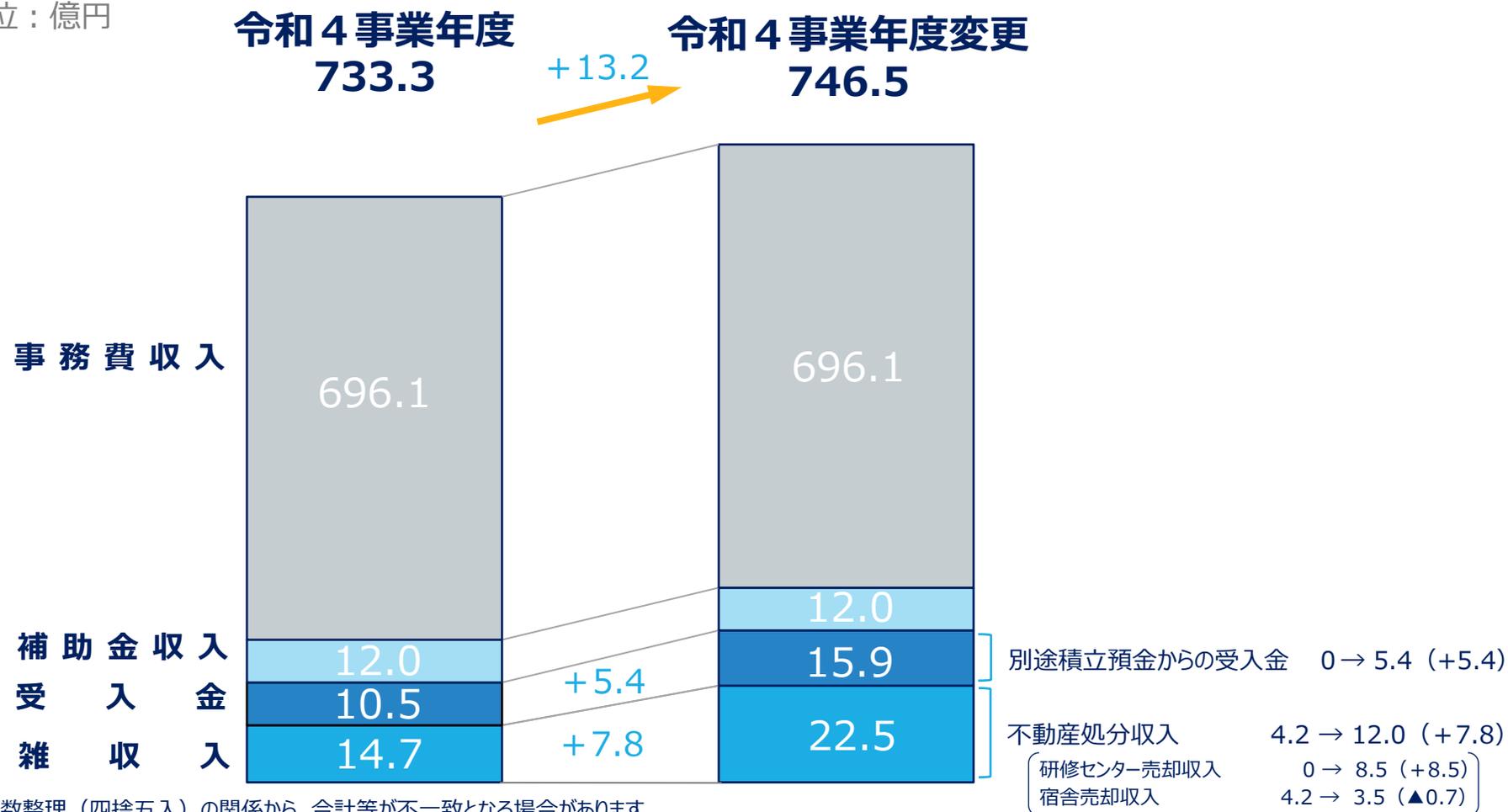
	増 (+)		減 (▲)	増減合計	積立預金 残高
	① 売却収入	② 賃貸収入	① 事務所等の修繕費用 ② 移転・売却に要する費用 ③ 賃借に要する費用 (新規分)		
令和4年度	研修センター 8.5 宿舎 3.5		▲9.3	2.8	18.1
令和5年度		0.1	▲3.6	▲3.5	14.6
令和6年度		0.4	▲3.3	▲2.9	11.7
令和7年度		0.4	▲2.9	▲2.5	9.2
令和8年度		0.4	▲4.4	▲4.0	5.3
令和9年度		0.4	▲5.2	▲4.8	0.4
令和10年度		0.4	▲5.5	▲5.1	▲4.7
令和11年度		0.4	▲5.7	▲5.3	▲9.9
令和12年度		0.4	▲5.9	▲5.5	▲15.4
令和13年度		0.4	▲6.1	▲5.7	▲21.1
令和14年度		0.4	▲6.3	▲5.9	▲27.0
令和15年度		0.4	▲4.5	▲4.1	▲31.1
令和16年度		0.4	▲5.4	▲5.0	▲36.2
令和17年度		0.4	▲5.8	▲5.4	▲41.5

①売却収入及び②賃貸収入を充当

※ 粗い前提に基づく仮試算。基金本部及び東京センター・東京事務局に係る移転に要する費用は含めていない。

収入総額

単位：億円



※ 端数整理（四捨五入）の関係から、合計等が不一致となる場合があります。
また、括弧書きについては、当初予算との差額を表しています。（以下この議事について同じ）

令和4事業年度審査支払会計収入支出予算変更 事務費勘定 7/7

支出総額

単位：億円

令和4事業年度
733.3令和4事業年度変更
746.5

+13.2

